

第8章 計画推進に向けた評価体制

本計画の取組を着実に進めていくため、取組の推進体制や評価体制について整理する。



| 8-1 | 計画の推進状況の評価体制

| 8-2 | 評価結果を踏まえた計画の見直し（PDCAサイクル）

| 8-3 | 実施スケジュール

| 8-1 | 計画の推進状況の評価体制

本計画を運用するに当たって、計画の推進状況を次の評価体制で行う。

- 計画の内容を着実に実施していくためには、評価指標及び数値目標に基づき、定期的なモニタリングを行い、計画の進捗状況を管理することが重要であり、また、施策・事業の実施状況や社会情勢を踏まえて、必要に応じて適宜計画の見直しを行う必要がある。
- 推進状況の評価は、本計画策定の協議主体である「道南地域公共交通活性化協議会」で実施するものとし、各年度と計画期間全体でPDCAサイクルに基づいた評価・検証を行う。
- 本計画の目標を達成するためには、交通事業者のみならず、公共交通の利用者である地域住民や関連団体の理解と協力が不可欠であることから、地域が一体となり、主体的に取り組むことが重要であり、関係者の役割や必要な取組を明確化することで、本地域における持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

表 8-1 計画推進状況の評価体制

区分	組織名	区分	組織名
市町	函館市	交通事業者	函館バス株式会社
	北斗市		一般社団法人函館地区ハイヤー協会
	松前町		北海道旅客鉄道株式会社
	福島町		道南いさりび鉄道株式会社
	知内町	道路管理者	国土交通省北海道開発局函館開発建設部
	木古内町		北海道渡島総合振興局函館建設管理部
	七飯町	公安委員会・警察	北海道警察函館方面本部
	鹿部町	国	国土交通省北海道運輸局函館運輸支局
	森町	北海道	北海道渡島総合振興局
	八雲町		北海道檜山振興局
	長万部町		
	江差町		
	上ノ国町		
	厚沢部町		
	乙部町		
	奥尻町		
今金町			
せたな町			

表 8-2 計画推進に向けた関係者とその役割

関係者	役割	内容
地域住民	公共交通の積極的な利用など	日常生活における公共交通の積極的な利用、公共交通利用促進策の活用、利用ニーズ・要望の発信など
交通事業者	安全な運行の確保など	公共交通の安全な運行、運行実績等のデータ提供など
北海道 市町	施策・事業の検討、実施など	利用ニーズ・要望の把握、交通施策の実施、資金調達、交通事業者との連携など

表 8-3 モニタリングを行う数値の測定方法

指標		現状値	目標値					測定方法
		R4 (2022)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	
1	広域路線の年間輸送人員	1,848 千人	1,885 千人	1,904 千人	1,923 千人	1,942 千人	1,961 千人	バス事業者から提供される数値により測定
2	広域路線の経常収支率	52.5%	53.5%	54.5%	55.5%	56.5%	57.5%	
3	広域路線への公的資金投入額	478 百万円	468 百万円	463 百万円	458 百万円	453 百万円	448 百万円	

| 8-2 | 評価結果を踏まえた計画の見直し（PDCAサイクル）

本地域の地域公共交通を取り巻く環境変化に的確に対応できるよう、計画はPDCAサイクルのもと推進するが、そのサイクルの一環として、目標達成状況のモニタリングと評価を実施し、その結果を踏まえ、事業の見直しや目標の見直しを検討する。



図 8-1 本計画の推進におけるPDCAサイクル

| 8-3 | 実施スケジュール

PDC Aサイクルのもと、実効性の伴う事業を効率的に実施するため、毎年度、道南地域公共交通活性化協議会を開催し、目標達成状況のモニタリングと評価を実施する。

協議会は年2回開催することとし、モニタリングと評価は6月頃、中間評価は12月頃に実施する。

なお、急な環境変化等により、対策の検討等が必要となった場合は、随時、協議会を開催する。

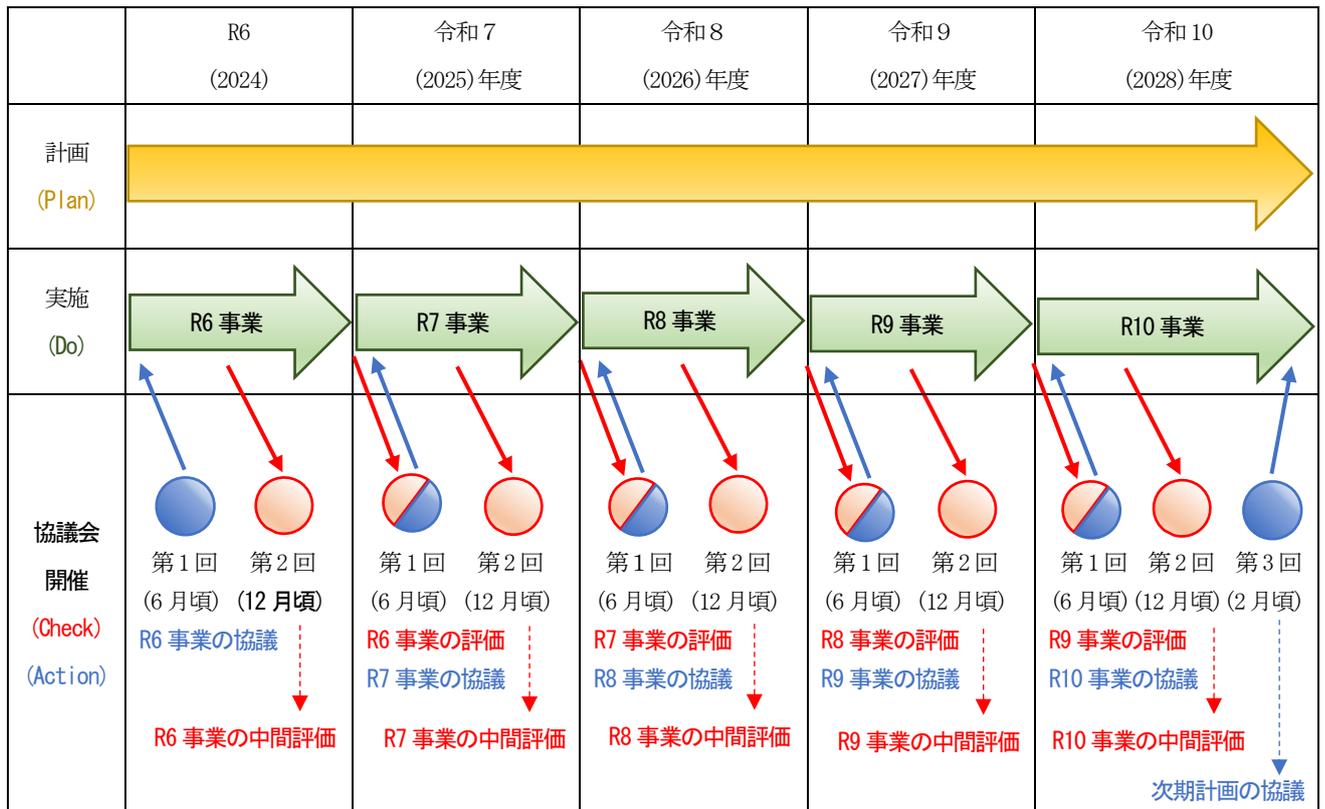


図 8-2 計画推進スケジュール